

令和7年度進行管理・評価シート
小樽市歴史的風致維持向上計画（令和7年7月30日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫活用推進事業	3
2 旧寿原邸活用推進事業	4
3 旧日本郵船株式会社小樽支店活用促進事業	5
4 旧手宮鉄道施設、手宮洞窟、旧小樽倉庫一般公開事業	6
5 鉄道車両補修事業	7
6 歴史的建造物保全助成事業	8
7 未指定・未登録建造物調査事業	9
8 歴史的建造物めぐり事業	10
9 第3号ふ頭及び周辺再開発事業	11
10 ロマネスクイルミネーション事業	12
11 小樽雪あかりの路実行委員会補助事業	13
12 旧国鉄手宮線維持補修事業	14
13 小樽市都市景観賞事業	15
14 八景の日事業	16
15 おたる潮まつり実行委員会補助事業	17
16 国指定重要無形民俗文化財「松前神楽」の公開事業	18
17 市指定の無形の民俗文化財「忍路鯨漁撈の行事」の公開事業	19
18 市指定の無形の民俗文化財「高島越後盆踊りの行事」の公開事業	20
19 市指定無形文化財・市指定の無形の民俗文化財 事業費補助事業	21
20 小樽市民俗芸能等伝承事業	22
21 ふるさとキャリア教育事業	23
22 小樽スキー学校事業	24
23 日本遺産推進協議会補助事業	25
24 小樽に関する教育普及事業	26
25 小樽に関する資料収集及び調査研究事業	27
26 稲垣益穂日誌翻刻作業事業	28
27 レールカーニバルin おたる事業	29
28 鉄道歴史体感プログラム事業	30
29 まち育てふれあいトーク事業	31
30 市指定歴史的建造物説明板修理事業	32
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	33
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業	34
3 文化財に関する普及・啓蒙の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組	35
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 小樽市7月に認定目指す 歴史的風致維持向上計画 他	36
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史まちづくりに関連する事業等の情報発信	37
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	38

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

歴史的風致維持向上計画の実施体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容
 ・小樽市の歴史的風致を維持及び向上していくための各種事業や取組を、事務局の新幹線・まちづくり推進室、生涯学習課、観光振興室を中心とし、関係各課と連絡調整を図りながら、効率的な計画推進を図る。
 ・「小樽市歴史的風致維持向上協議会」をはじめ、小樽市文化財審議会及び小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観審議会との協力や北海道などの関係機関との調整を行い、計画の実現を図る。
 ・「小樽市歴史的風致維持向上協議会」や市の庁内関係課による会議を定期的に行い、計画の進捗や見直し等について協議し、歴史まちづくりの推進に向けて取り組んでいくものとする。

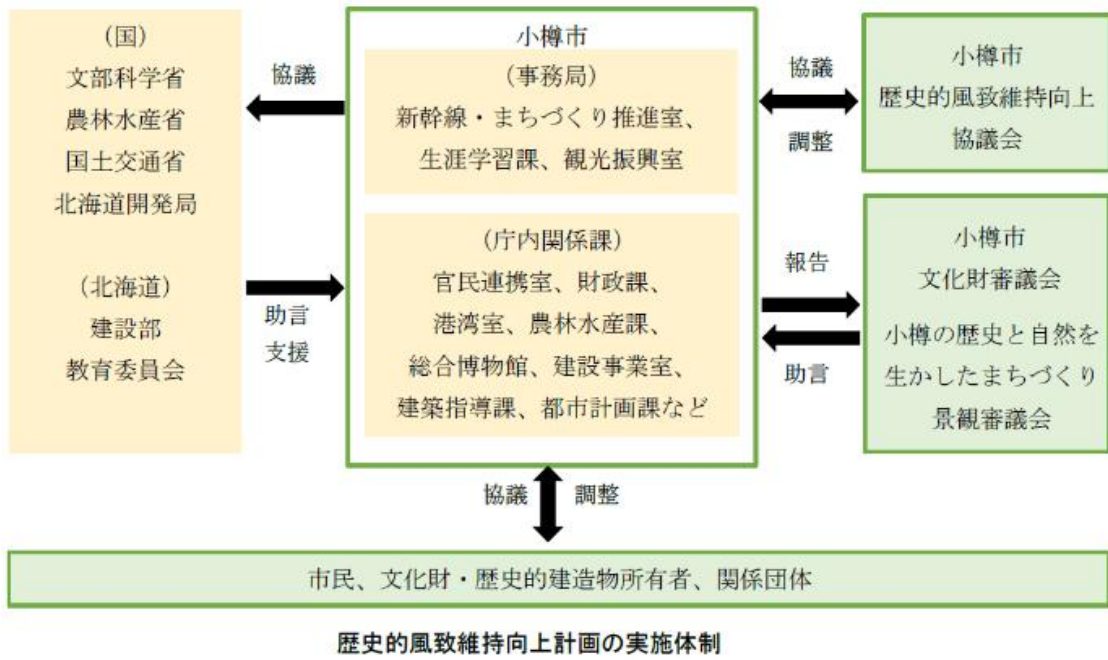
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

協議会は、新幹線・まちづくり推進室、生涯学習課及び観光振興室が事務局となり運営している。
 令和7年度は、小樽市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた協議会を1度開催し、7月に計画が認定された。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 計画の進捗管理・評価などを協議する場面において、関係部署が多岐にわたるため、事務局が庁内での集約・意識共有を行い、円滑な計画推進を図っていく。
--	---

状況を示す写真や資料等



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
重点区域における良好な景観の形成に関する施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

都市計画、景観計画、屋外広告物条例及び重要文化財旧日本郵船株式会社小樽支店保存活用計画との連携

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

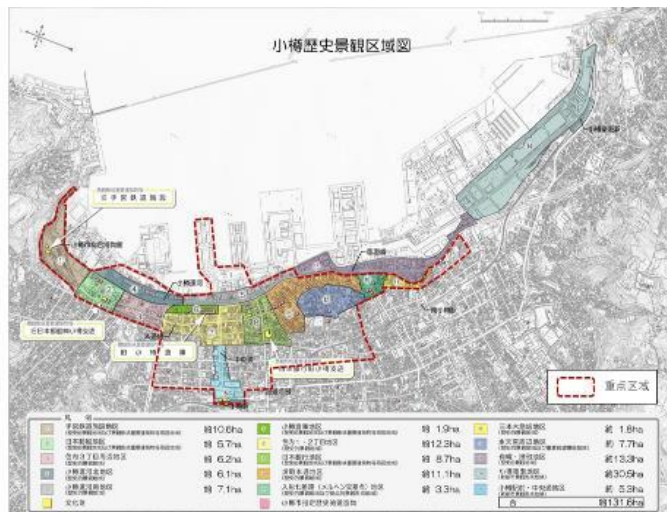
・景観計画に基づき、建築物・工作物の新築・改修等に対し、地区の特性に応じた景観誘導を行った。令和7年度の歴史景観区域内における届出件数は、11件。(令和6年度:9件)
 ・屋外広告物条例に基づき、一定規模を超える屋外広告物の表示に対し、地区の特性に応じた屋外広告物の指導を行った。令和7年度の歴史景観区域内における申請件数は、54件。(令和6年度:54件)
 ・重要文化財旧日本郵船株式会社小樽支店保存活用計画に基づき、4月より指定管理者制度を活用し、一般公開等を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



重点区域と小樽歴史景観区域

小樽歴史景観区域区分図



重点区域と小樽市屋外広告物条例に基づく区域区分

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和4年度～令和16年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の指定制度等を活用し、旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫の保全・活用を図るための事業を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度に実施した内容
 ・旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫(以下、「旧第3倉庫」という。)の保全・活用を図るため、以下の取組を実施
 ① 旧第3倉庫の利活用に向けたサウンディング型市場調査の実施
 ② 地域おこし協力隊の活用(北運河地区への観光客周遊に向けた旧第3倉庫等の活用に関する取組、旧第3倉庫等の魅力発信)
 ○進捗状況の評価(アウトプット)
 ① 調査エントリー数:4社(令和8年3月31日時点)
 ② 委嘱人数:1名(令和7年9月1日～)
 ※令和8年3月に旧第3倉庫及び旧日本郵船株小樽支店を活用したイベントを実施したほか、旧第3倉庫や北運河地区の魅力を発信するカルチャー誌を作成

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

① 旧第3倉庫の利活用に向けたサウンディング型市場調査

○本調査へエントリーした法人との対話参加法人数:4社



旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫の利活用に向けたサウンディング型市場調査

令和8年2月13日(金) エントリー締切

旧北海製罐(株)小樽工場第3倉庫の利活用を目的とするため、民間事業者の健全なアイデア・ノウハウを生かした実現性の高い利活用案や、事業者の可能性がある提案することを目指して、「サウンディング型市場調査」を実施します。

※このアンケートは市場調査であり、事業者の個人情報等の開示は、事業者の承認なくして、第三者に提供されることはありません。また、調査の結果が民間事業者の意向・地域の事業者の把握等に利用され、行政機関の検討に活用される場合があります。

※受付期間* 令和7年12月22日(月)～令和8年2月13日(金)
 ※個別対応* 令和8年2月1日(月)～令和8年2月7日(金)
 別途参加ボタンで実施(上記期間内での参加)

※対象者* 旧第3倉庫の整備及び運営に主体的に関与する意向を有する法人

※調査内容* 「テーマ型」「フリー型」の2種類の方式で、事業提案を募集
 「テーマ型」: 特定したテーマに沿って提案を行う
 「フリー型」: 自由なアイデア・ノウハウで提案を行う
 ※詳細は、市のホームページをご覧ください。
 (https://www.city.otaru.lg.jp/666/00001200000007/)

【お問い合わせ先】 小樽市 都市計画課 まちづくり推進室
 TEL: 0134-32-4111(内線524) E-Mail: urandai@city.otaru.lg.jp

写真1 調査チラシ(広報)

② 地域おこし協力隊の活用



写真2 隊員の委嘱

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧寿原邸活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧寿原邸の一般公開を行うとともに、本事業の受託業者と協働し、旧寿原邸を題材とした建物等の修繕に係る講座を活用して修復するなど、建物等の保全活用に努める。また、文化芸術イベント等を実施し、歴史的建造物の多様な利活用事例として、情報を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は庭園整備や園芸市、生け花教室、演奏会など文化芸術イベントを41回実施した。

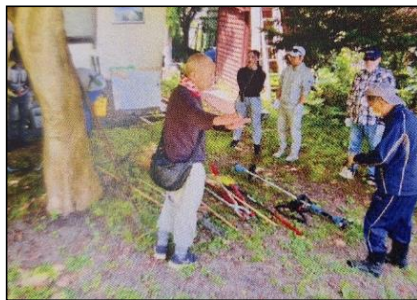
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引続き、事業を通して歴史的建造物の多様な活動事例として情報を発信し市民の関心を高める。また、適切な保全を行うことで、歴史的風致の維持向上に寄与する。

状況を示す写真や資料等



令和7年度 旧寿原邸イベントパンフレット



保全事業(庭園整備の様子)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧日本郵船株式会社小樽支店活用促進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業(一部、文化資源活用事業補助金)

計画に記載している内容 令和6年度に策定した「重要文化財(建造物)旧日本郵船株式会社小樽支店保存活用計画」に基づき、施設を活用したイベント等の実施を通じて、文化財としての価値や魅力を発信するとともに、Wi-Fi環境やキャッシュレス設備の整備、手洗いの改修等を実施することにより、観光拠点としてのにぎわいを創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度4月から9月にかけて、外国人観光客等の受け入れ等に向け、キャッシュレス決済機器整備、展示解説の多言語対応、フリーWi-Fi設置のためのWi-Fi環境整備、トイレの改修及び全個室のウォシュレット整備を行った。また、イベントとして、金唐革紙版木体験会、フォトウエディング、フラワーワークショップ、写真展示会(企画展示)などを実施した。令和7年度来館者数は約21,000人であった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



10月26日(日)開催
「金唐革紙 版木体験会」
 主催：旧日本郵船小樽支店

金唐革紙の版木とは？
 金唐革紙の模様は、文様を彫り込んだ「版木」を使って紙に型押しすることで生み出されます。版木によって浮き上がった立体模様は金箔や彩色を施し、豪華で重厚な仕上がりとなります。

当日、版木を使用した体験会を開催します
 ・10月26日13時～15時・先着順・料金：入館料のみ
 この機会にぜひご参加ください。

問合せ先：旧日本郵船小樽支店 0134-22-3316
 指定管理者：株式会社日本郵船
 小樽支店



写真① 10月26日金唐革紙版木体験会 (R7年度は7回開催)

写真② 金唐革紙版木体験会の様子(1)



写真③ 金唐革紙版木体験会の様子(2)

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧手宮鉄道施設、手宮洞窟、旧小樽倉庫一般公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和60年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	総合博物館が管理している国指定の重要文化財「旧手宮鉄道施設」、国指定史跡「手宮洞窟」、市歴史的建造物「旧小樽倉庫」の一般公開を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
3施設を市営の博物館施設として一般公開を行い、来館者の歴史的資源の理解に寄与した。 令和7年度来館者数について、令和8年3月末現在で旧手宮鉄道施設(小樽市総合博物館本館)は98,794人、手宮洞窟保存館は7,275人、旧小樽倉庫(小樽市総合博物館運河館)は46,004人であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
写真① 旧手宮鉄道施設 (総合博物館本館 屋外展示場)			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
鉄道車両補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業(寄付金を使用)		
計画に記載している内容	小樽市総合博物館で展示している鉄道車両の補修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は3両の鉄道車両の補修を行った。補修内容として、サビ落とし、サビ止め、塗装、破損個所の補修などを、職員とボランティアが実施した。また、補修作業ではないが、将来展示整備を行う車両の移設作業を行い、今後の補修・整備に向けたPRも行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	屋外車両は車庫や屋根のない状況での展示が多く、損傷や腐食等の進行が早く、早急な対応や継続的な補修が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
			
写真① 補修作業前の車両		写真② 補修作業後の車両	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保全助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成5年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市の景観条例で登録・指定している歴史的建造物の外観の保全に要する経費の一部を市が助成し、所有者への経済的な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小樽市登録・指定歴史的建造物の3件の外観の保全に要する経費の助成を行い、歴史的建造物の維持・管理に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、助成事業を通じて歴史的まちなみの保全を図る。		
状況を示す写真や資料等			
	着工前	完了	
小樽市指定第67号 旧塩田別邸 屋根、開口部などの修繕			
小樽市指定第27号 旧小樽組合基督教会 開口部、雪止めなどの修繕			
小樽市登録第68号 旧青木邸はなれ 外壁、開口部などの修繕 (往時の色彩に復元)			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
未指定・未登録建造物調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和7年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物、文化財及び市指定歴史的建造物の候補となる建造物の調査等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観審議会において、未指定・未登録建造物の調査等について意見を伺い、来年度より、小樽の自然と歴史を生かしたまちづくり景観審議会(以下、景観審議会)歴史的建造物専門部会と連携して、調査等に向けた検討を行うこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査により、価値が認められた場合には、今後、景観条例に基づく登録・指定歴史的建造物とした上で、歴史的風致形成建造物の指定を行い、保全・活用を図る。		
状況を示す写真や資料等			
			
景観審議会(令和7年11月25日)			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物めぐり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成4年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の保全等に対する市民等の理解を深めていくことを目的に、公募した市民等が講師の説明を聞きながら、市内の歴史的建築物を見学する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物めぐりを開催し31名が参加した。歴史的建造物の特徴や時代背景などについて理解が深まり、参加者の歴史的なまちなみの保全に対する意識の向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引続き、事業を通して市民の歴史的建造物に対する関心を高めることで、歴史文化資源に対する市民意識の醸成を図る。

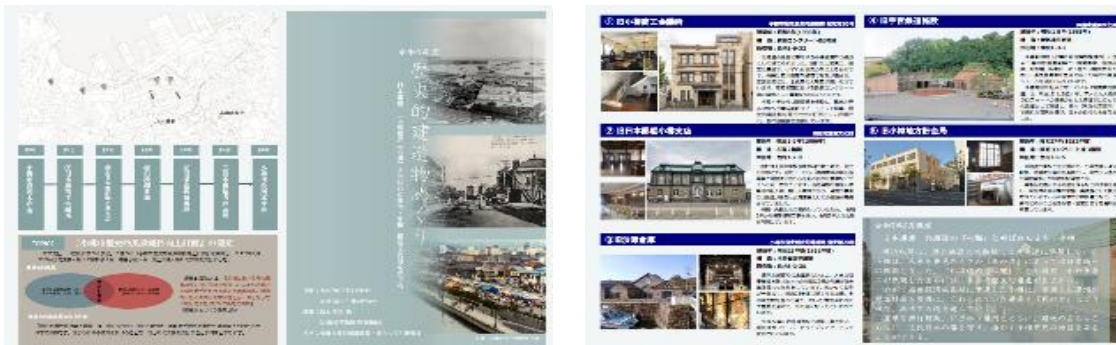
状況を示す写真や資料等



めぐりの様子(左から、旧小樽商工会議所、旧日本郵船小樽支店、旧手宮鉄道施設)



めぐりの様子(左から、旧渋澤倉庫、旧地方貯金局)



令和7年度歴史的建造物めぐりパンフレット

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
第3号ふ頭及び周辺再開発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和7年度		
支援事業名	【社会資本整備総合交付金】小樽港第3号ふ頭及び周辺における賑わいと活力ある港湾空間の形成 【補助】港湾機能高度化事業費補助、港湾機能高度化施設整備費補助		
計画に記載している内容	第3号ふ頭及び周辺地区を、大型クルーズ船の接岸場所として活用するとともに、みなと観光の拠点としてにぎわいづくりを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小樽港第3号ふ頭基部において、クルーズターミナルと大型バス駐車場、大型クルーズ船対応岸壁の整備を行ったことにより、中心部から3km以上離れた勝納ふ頭で受け入れていた6万t超のクルーズ船について、すべて第3号ふ頭で受入れることが可能となった。 これにより、令和6(2024)年は寄港数32回のうち15回で乗客乗員約4万8千人、令和7(2025)年は寄港数33回のうち14回で乗客乗員約4万2千人、その相当数が小樽港第3号埠頭を起点として市内観光するなど、中心部のにぎわい創出に大きく寄与した。			
また、令和7年度に行った第3号ふ頭及び周辺再開発事業は、旧港湾室庁舎の解体、小樽港観光船ターミナルの供用開始、(仮称)第3号ふ頭基部緑地の整備である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	年度当初の国費配分により、令和7年度は、緑地の整備を優先し事業を進めたことで、小型船だまりの整備については、令和8年度の整備予定となった。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄事業(岸壁等) ・クルーズターミナル ・大型バス駐車場 (令和4~5年度完成済) ・小型船だまり整備 (令和6年度完成済) ・小型船だまり整備 (令和8年度整備予定) ・緑地(1) (令和8年4月供用開始予定) </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小樽港観光船ターミナル (令和7年8月供用開始) ・国際インフォメーションセンター (令和5年度完成済) ・みなと緑地PPP (令和8年整備予定) ・旧港湾室庁舎 (令和7年度解体済) ・緑地(2) (令和5年度完成済) </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> : 整備済み : 対象年度に施工 : 未整備事業 : 民間事業者整備事業 </div>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
ロマネスクイルミネーション事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和63年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物のライトアップを行い、夜の小樽を魅力的に演出することで、観光客の滞在時間の延長を促し、観光消費額の増加を目的とする。ライトアップ機器の維持管理及びその電気料金の負担を実施する。
 (日本銀行旧小樽支店、旧三井銀行小樽倉庫、運河倉庫群(北日本倉庫港運、洪澤倉庫、大同倉庫、小樽倉庫)、旧小樽倉庫、旧日本郵船株式会社小樽支店、旧北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度に小樽運河倉庫群のライトアップをLEDに更新し、既設ライトアップのLED化が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧北海製罐(株)第3倉庫



小樽運河



旧三井銀行小樽支店



日本銀行旧小樽支店

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小樽雪あかりの路実行委員会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小樽の冬の観光振興を図ることを目的として、毎年2月に、市民ボランティアの手により、小樽の街の夜を、「雪」と「キャンドルのあかり」で演出するイベント。寒いからこそ感じられる北の旅愁、人の温もりを伝える「静のイベント」として、国内はもとより海外からも高い評価を得ている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<事業実施支援> 小樽雪あかりの路実行委員会補助金 4,500千円(当初予算額)を交付 <参考 過年度実績> ・来場者数 25万3,000人(令和6年度:24万4,000人、令和5年度:25万1,000人、令和4年度:25万2,000人) ・ボランティア延数 約1,600人(令和6年度:1,904名、令和5年度:1,575名、令和4年度:1,557名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	物価高騰等により、イベントを同規模で開催することが金銭的事情により困難になりつつある。引続き事業を実施するために、経費節減や収入増の取り組みを進める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 25%;"> <p>①</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>②</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>③</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>④</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>⑤</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>⑥</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>⑦</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>⑧</p>  </div> <div style="width: 50%; margin-left: 20px;"> <p>①自衛隊の協力を得て造成した会場 ②ボランティアが製作した公式グッズ ③公式グッズ製作を体験する市民 ④手宮線に作品を見に来る観光客 ⑤海外ボランティア作業の様子 ⑥ボランティア集合写真 ⑦公式ポスター A面 ⑧公式ポスター B面</p> </div> </div>			

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧国鉄手宮線維持補修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧国鉄手宮線のレール下の枕木更新等を行うことで、散策路の景観を保全し、安全で快適に利用できるよう維持管理を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧国鉄手宮線のレール下の枕木交換を43本行った。(R6:33本、R5:30本、R4:40本)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き枕木交換を進めるとともに、枕木以外の施設(ベンチ、照明など)の老朽化も進んでいることから、整備を行い、歴史的風致の向上に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等



旧国鉄手宮線



枕木交換



枕木交換



照明柱更新



ベンチ修繕



電球LED化

修繕・更新が必要な施設の状況写真

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
小樽市都市景観賞事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和63年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 優れた都市景観を創出している建築物等や歴史的建造物、イベントなどについて、市民が応募した物件の中から選考し、小樽市都市景観賞として表彰する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年7月1日～8月31日まで対象物件の募集を行い、20件の応募があり、10月に都市景観賞選考委員会を開催し受賞物件を推薦、11月の景観審議会にて推薦の承認及び市長報告、12月に都市景観賞表彰式を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引続き、市民の応募により優れた都市景観を創出している建築物等を表彰することにより、市民や事業者の景観に対する意識の啓発を図る。

状況を示す写真や資料等



第26回景観賞募集ポスター



10月17日 都市景観賞選考委員会 (左から、現地視察、選考の様子)



都市景観賞 (左から、群青、小樽港観光船ターミナル、小樽住ノ江火の見櫓とまもる会の活動)



都市景観奨励賞 (歴史ある建造物群とその保存・利活用を目指すプロジェクト「裏小樽モンパルナス」の活動)



12月24日 都市景観賞表彰式



都市景観賞銘板

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
八景の日事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成8年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内を八地区に分けそれぞれの地区の優れた景観を、市民とともに八区八景として選定している。それらを生かした景観づくりをすすめるために、8月8日を「八景の日」とし、写真パネル展の実施や公募した市民等と選定した地区を巡る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年8月8日～8月14日までパネル展を実施し、小樽八区八景や歴まち計画認定の周知PRなど、自然や歴史景観に対する意識の醸成に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、地元住民が愛着を持つ地区の景観を市民に伝えることで、歴史や自然景観に対する意識の醸成を図る。		
状況を示す写真や資料等			
			
パネル展の様子			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
おたる潮まつり実行委員会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和42年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内夏の一大イベントとして、50年以上の歴史を誇る「おたる潮まつり」にて、伝統の潮ふれこみ、潮ねりこみのほか、花火大会、出店のほか各種イベントを実施することにより、小樽市民はもとより、札幌圏、道内・道外からの観光客入り込みによる小樽の観光振興及び市内経済の活性化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

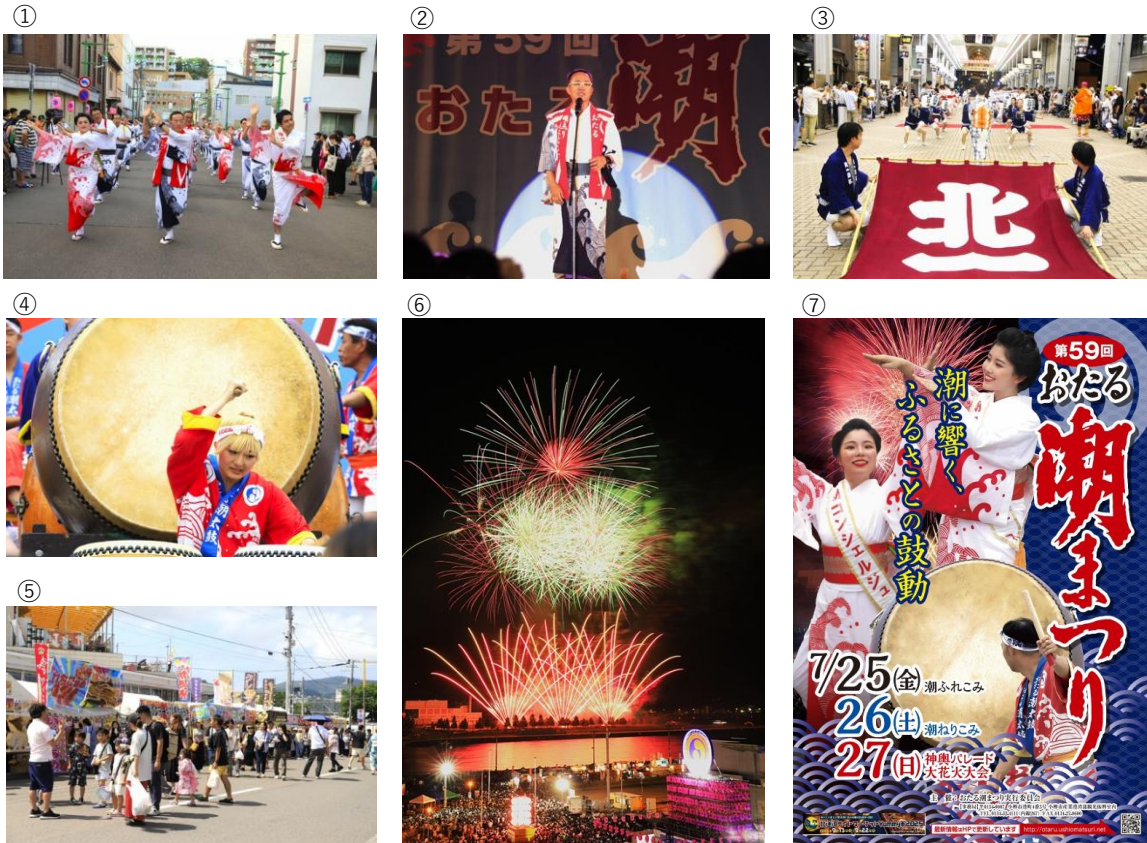
<事業実施支援>
 おたる潮まつり実行委員会補助金 9,000千円交付。
 <参考 令和7年度実績>
 ・来場者数 850千人(令和6年度:880千人、令和5年度:1,000千人、令和4年度:900千人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

物価高騰等により、イベントを同規模で開催することが金銭的事情で困難になりつつある。引き続き事業を実施するために、経費節減や収入増の取り組みを進める。

状況を示す写真や資料等



- ① 祭りの始まりをふれまわる、「潮ふれこみ」
- ② 祭りの開祭をつげる実行委員長
- ③ 優勝した地元企業の「潮ねりこみ」梯団
- ④ 第1回から続く「潮太鼓」の打演
- ⑤ 市内各地から集まる様々な出店を楽しむ来場者
- ⑥ 祭りを締めくくる「大花火大会」
- ⑦ 公式ポスター

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
国指定重要無形民俗文化財「松前神楽」の公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和7年度～令和16年度

支援事業名 松前神楽小樽保存会補助金事業

計画に記載している内容 国指定重要無形民俗文化財「松前神楽」の公開を核として、地域に密着したイベントを実施することにより、文化財の普及や地域活性化を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

主に5月から8月にかけて開催される市内の神社の例大祭、松前神楽小樽ブロック保存会の合同公演、小樽市教育委員会と連携した小樽市民俗芸能伝承事業で、松前神楽を公開した。合同公演では約100名が来場し、小樽市民俗芸能伝承事業では学校での神楽鑑賞をきっかけに神楽に関心を持った小学生が保存会に入会するなどして、文化財の普及を通じた地域活性化や郷土愛醸成に寄与した。さらに、本市に寄港した外国籍大型クルーズ船の船内ショーとして松前神楽を公開し、地域のみならず世界に向けた松前神楽の普及を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① 令和7年度潮見ヶ岡神社例大祭での松前神楽奉奏



写真② 令和7年度松前神楽小樽ブロック保存会合同公演ポスター



写真③ 令和7年10月3日小樽港寄港の大型クルーズ船での松前神楽公開



写真④ 令和7年度小樽市民俗芸能伝承事業での松前神楽練習会

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
市指定の無形の民俗文化財「忍路鯨漁撈の行事」の公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度～令和16年度

支援事業名 忍路鯨場の会補助金事業

計画に記載している内容 市指定の無形の民俗文化財「忍路鯨漁撈の行事」の公開を核として、その保存会である忍路鯨場の会が地域のイベントに参加することにより、文化財の普及や地域活性化を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存会が主催する行事(網おろし)及び、小樽市教育委員会と連携した小樽市民俗芸能伝承事業において、忍路鯨漁撈の行事の公開を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① 令和7年度小樽市民俗芸能伝承事業における忍路鯨漁撈の行事の公開



写真② 網おろしでの忍路鯨漁撈の行事の公開

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
市指定の無形の民俗文化財「高島越後盆踊りの行事」の公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和7年度～令和16年度		
支援事業名	高島越後踊り保存会補助金事業		
計画に記載している内容	市指定の無形の民俗文化財「高島越後盆踊りの行事」の公開を核として、その保存会である高島越後踊り保存会が地域のイベントに参加することにより、文化財の普及や地域活性化を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年8月15日から17日にかけて行われた「高島越後盆踊り」や、小樽市教育委員会と連携した小樽市民俗芸能伝承事業において、高島越後盆踊りの行事の公開を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



写真① 令和7年度高島越後盆踊りポスター
(令和7年8月15、16、17日開催)



写真② 令和7年度小樽市民俗芸能伝承事業における高島越後踊り行事の公開・体験

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
市指定無形文化財・市指定の無形の民俗文化財 事業費補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小樽市で指定する無形文化財及び無形の民俗文化財の保存団体に対し、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、事業費補助金を交付し、活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松前神楽小樽保存会、高島越後踊り保存会、忍路鯨場の会、向井流水法会が令和7年度に実施した無形・無形民俗文化財の普及活動に係る事業に対して、市から事業費補助金を交付した。 ※交付決定額は松前神楽(80千円)、高島越後踊り保存会(40千円)、忍路鯨場の会(35千円)、向井流水法会(40千円)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真① 松前神楽</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真② 高島越後盆踊りの行事</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真③ 忍路鯨漁撈の行事</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真④ 向井流水法</p> </div> </div>			

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
小樽市民俗芸能等伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内に伝わる無形文化財・無形の民俗文化財を、学校教育等を通じ児童生徒に普及する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に伝わる無形文化財1件、無形民俗文化財3件について、各保存会の協力を得ながら、児童生徒を対象にした文化財の公開及び体験事業を実施した。
 本事業によって文化財を体験した児童生徒が、文化財のさらなる習得を目指し保存会に入会しており、事業実施によって後継者育成に寄与することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

小樽市民俗芸能伝承事業

松前神楽 体験会

潮見ヶ岡神社などに伝わる「松前神楽」の子ども向け体験会を行います。

日程：全部で7回 行います。

令和7年
 ① 8月2日 ② 8月5日 ③ 8月9日
 ④ 8月12日 ⑤ 8月16日 ⑥ 8月19日
 ⑦ 8月23日 ※その他にも日程変更が生じることがあります

時間：午前9時30分から11時まで
 会場：潮見ヶ岡神社(小樽市若竹町1-10)
 対象：小学4年生～中学3年生の児童 ※参加無料
 対象学年以外でも、希望があれば相談に応じます

定員：10名 **事前申込制**
 ※応募多数の場合抽選となります。参加できる日だけでもOK!

申込：右のQRコードまたは下のURLから、インターネットでお申込みいただくか、下記お問合せ先までお問い合わせください。
 URL：<https://logoform.jp/form/faq/1115502>

募集期間：7月4日(金)～7月14日(月)

お問合せ先 小樽市教育委員会 生涯学習課 〒047-0034 小樽市緑3丁目4番1号
 電話：0134-32-4111(内線：7531)/FAX:0134-33-6608
 Eメール：syogai-gakusyu@city.otaru.lg.jp

写真① 令和7年度松前神楽体験会募集チラシ

むかしのりゅうすいほう すい えい こう しゅう かい

向井流水法 水泳講習会

小樽に伝わる古式泳法「向井流水法」の体験会です。水泳の初心者から上級者までていねいに指導します。

日程 ① 7月30日(水) ② 8月1日(金)
 (全4回) ③ 8月6日(水) ④ 8月8日(金)

時間 午前10時30分～11時30分 **参加無料!**
 ※午前10時20分に集合してください

募集期間：6月20日(金)～6月30日(月)
 会場：高島小学校温水プール(小樽市高島5丁目6-1)
 対象：小学3年生～6年生の児童
 定員：30名 ※応募多数の場合、抽選となります。申込フォーム

申込：右のQRコードまたは下記URLからインターネットでお申込みいただくか、お問合せ先まで御連絡ください。
<https://logoform.jp/form/faq/1022774>

お問合せ 小樽市教育委員会 生涯学習課 〒047-0034 小樽市緑3丁目4番1号
 電話：0134-32-4111(内線：7531)/FAX:0134-33-6608
 Eメール：syogai-gakusyu@city.otaru.lg.jp
 小樽市民俗芸能伝承事業(主催：小樽市教育委員会、協力：向井流水法会)

写真② 令和7年度向井流水法水泳講習会募集チラシ

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
ふるさとキャリア教育事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民等が講師となり、児童生徒に、地域の文化芸術、歴史、観光などの幅広い事物について講話や体験活動を行い、地域の取組について学ぶ機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、①開催60回を迎えた「おたる潮まつり」で踊り継がれる「潮音頭」について歴史や振付けを学ぶ学習会、②小樽港内を遊覧する屋形船に乗船し、解説員から小樽や小樽港の歴史を学ぶ学習会を実施した。
 ①潮音頭学習会の参加者：市内小中学校26校約2,700名、②屋形船学習会：市内小学校17校約600名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① 「潮音頭学習会」で講師から踊りを習う児童

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小樽スキー学校事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和26年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 冬休み期間、学校のスキー学習とは別に、市民ボランティアや学校教諭が講師となり、児童生徒にスキー指導を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和8年1月7日から9日の3日間で、小樽市教育委員会及び小樽学校スキー研究会の主催により、朝里川温泉スキー場で小樽スキー学校を開催。111人の児童生徒及び29人の講師等が参加し、スキー文化の保存・継承及びスキー技術指導者の育成に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

スキー文化の保存・継承のため、スキー技術指導者及び後継者の育成を継続して行うことで、歴史的風致の維持及び向上に寄与することから、来年も継続して実施していく。

状況を示す写真や資料等



写真① ゆきちゃん
(小樽スキー学校マスコットキャラクター)



写真② 開校式



写真③ 指導の様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
日本遺産推進協議会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和16年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都～」の事業主体である小樽市日本遺産推進協議会へ補助金を支出し、各種事業及び啓発事業を協議会が主体的に推進し、日本遺産を活用した地域活性化につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都～」の令和7年2月に認定を受けたため、市内外問わず多くの方に認知してもらうことを優先事項として、事業を組み立て、実行した。各事業とも多くの反響をいただき、一定程度の成果は得られたと感じている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	看板などの整備には多額の事業費がかかるものについては、文化庁補助金などを活用して、事業を進めていく方針とした。		

状況を示す写真や資料等



日本遺産ガイド研修



日本遺産認定記念フォーラム



日本遺産ガイドブックの作成
作成部数10,000部



日本遺産フェスティバルin倉敷へブース出展
R7.10.25-26開催 各地の日本遺産がブースを出展

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
小樽に関する教育普及事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和31年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

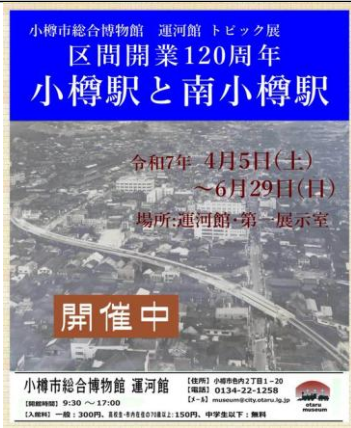
計画に記載している内容 小樽に関する様々な事象について、企画展示、講座、出前授業等を通じ、広く市民に向けた教育普及を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小樽市総合博物館本館及び運河館において、小樽に関する鉄道・自然・歴史の企画展示や解説、質問対応、科学に関する実験講座を定期的に開催した。また、小学校における出前授業や教員研修、ガイド研修などで講演会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



写真① 運河館トピック展「区間開業120周年 小樽駅と南小樽駅」



写真② 運河館トピック展「追憶・小樽をつつむ」



写真③ チャレンジラボ「文字「キー」ホルダー」



写真④ 企画展「博物館コレクション ハムシ・ゾウムシ・カミキリムシ」



写真⑤ ミュージアムラウンジ「小樽のおもいで未来へプロジェクト・第2弾」

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
小樽に関する資料収集及び調査研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和31年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 小樽に関する歴史や自然、文化、芸術などの様々な分野に関する資料や情報を収集して、その価値を明確化し、後世に語り継ぐために保存を行い、調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和8年3月末までに36件・約310点の新規資料を収集・登録するとともに、閲覧・借用・複写等の資料利用依頼約160件に対応した。また、北海学園大学・立命館大学と共同で写真資料の撮影場所等に関する調査を行い、資料の価値向上に努めた。併せて、収集資料の整理・管理を実施し、適切な保存環境の維持を図った。これらの成果を踏まえ、企画展およびトピック展を開催し、研究成果の普及に取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



新規登録資料 大黒屋関連資料等



新規登録資料 新海金物店資料



兵庫写真コレクションの調査



トピック展「追憶 小樽をつつむ」ポスター

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
稲垣益穂日誌翻刻作業事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	昭和59年度～令和16年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	明治時代後期から昭和初期にかけて小樽の小学校の校長を務めた稲垣益穂が記した日記を翻刻し、出版する事業。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

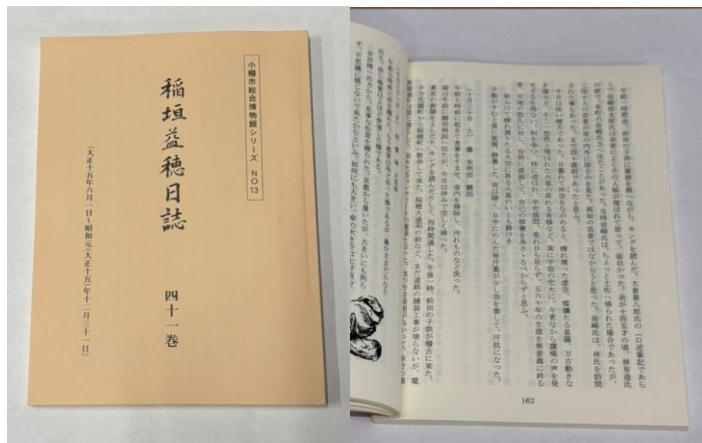
月2回のボランティア活動において、学芸員とボランティアメンバーで翻刻を進めた。令和7年度は、全部で55冊ある日誌のうち、第41巻を翻刻し、出版した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



写真① 稲垣益穂氏の写真



写真② 稲垣益穂日誌第41巻の原本と出版物

巻数	初巻	1	2	3～7	8～40	41	42	43～54
出版	済		未出版		済	R7年度出版	R8年度出版予定	R9年度以降順次着手
作者の居場所	高知	岩手	宮城	小樽				

※小樽に居住している期間の翻刻及び刊行を優先。

図1 『稲垣益穂日誌』出版状況

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
レールカーニバルin おたる事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和16年度		
支援事業名	民間単独事業		
計画に記載している内容	北海道最初の鉄道・旧国鉄手宮線(旧幌内鉄道)のレール上を、足漕ぎトロッコを使って、自らの足で漕ぐという企画。北海道の大切な鉄道遺産である旧国鉄手宮線を多くの人に知ってもらいたいという想いから、幌内鉄道全線開通130周年にあたる平成24(2012)年からスタートした。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
2025年は3回のイベント開催を行った。乗車は、道内外のほかに海外の観光客が乗車し、リピーターも多く見られるようになっている。 ・5月3日～6日 4日間 乗車人数 895人 ・8月9日～11日 3日間 乗車人数 565人 ・10月11日～13日 3日間 乗車人数 653人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	運営するスタッフは、ボランティアで参加しているが、スタッフの不足は常にあり、市の産業港湾部観光振興室などからの応援や、市内の高等学校数校のボランティアサークル等からの参加によって運営できている状況です。		
状況を示す写真や資料等			
令和7年5月3日～6日運行 			
令和7年8月9日～11日運行 			
令和7年10月11日～13日運行 			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
鉄道歴史体感プログラム事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国指定の重要文化財「旧手宮鉄道施設」を活用して蒸気機関車アイアンホース号(Porter4514)の動態展示を実施し、明治時代の鉄道システムの体験ができるプログラムを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(1) 明治風の客車に乗ろう、令和7年4月29日(火・祝)～10月13日(月・祝)、計342回運行、乗車人数のべ31,494人 (2) 限定コラボ「蒸気機関車 in 機関車庫三号」、令和7年7月21日(月・祝)、1回実施、参加者数150人 (3) 「フラッグステーション体験」、令和7年9月20日(土)、1回実施、参加者数17人 (4) 「明治浪漫巡り」、令和7年10月11日(土)、1回実施、参加者数6人 (5) 「着物で楽しむ明治の鉄道施設」、令和7年10月12日(日)、1回実施、参加者数29人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
		(1) 明治風の客車に乗ろう 左：転車台(重要文化財)に乗る蒸気機関車を観覧する参加者 右：蒸気機関車が牽引する石炭貨車を模した車両に乗車する参加者	
		(2) 限定コラボ「蒸気機関車 in 機関車庫三号」 左：機関車庫三号(重要文化財)に入庫する蒸気機関車 右：機関車庫三号に入庫した蒸気機関車	
		(3) 「フラッグステーション体験」 左：赤い旗(フラッグ)をあげて蒸気機関車に停車の合図を送る様子 右：特設停車場のフラッグステーションでの乗車	
		(4) 「明治浪漫巡り」 左：機関車庫三号と転車台の前で人力車に乗って記念撮影 右：重要文化財の旧日本郵船株式会社小樽支店の前で人力車に乗って記念撮影	
		(5) 「着物で楽しむ明治の鉄道施設」 左：機関車庫三号前で記念撮影をする着物姿の参加者 右：貨客混合列車の一等客車デッキで記念撮影をする着物姿の参加者	

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

Table with columns: 評価対象年度 (令和7年度), 項目 (まち育てふれあいトーク事業), 現在の状況 (□実施済, ■実施中, □未着手)

Table with columns: 事業期間 (昭和63年度～令和16年度), 支援事業名 (市単独事業)

Table with columns: 計画に記載している内容 (職員が市民のもとへ出向き、市の事業や制度について講話を通じ、周知するとともに、市民から市政に対する意見を聴き、情報交換を行う。)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は88回実施した。(令和6年度は69回実施)

Table with columns: 進捗状況 ※計画年次との対応, 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「まち育てふれあいトーク」メニュー表

Table with columns: メニュー名, メニュー内容, 担当部署. Lists various topics like 'Family support', 'School lunch', 'Youth health', etc.

Table with columns: メニュー名, メニュー内容, 担当部署. Lists various topics like 'Public housing', 'City planning', 'Disaster prevention', etc.

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
市指定歴史的建造物説明板修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和16年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 建物の建築年代や由来を多言語で記した解説板を設置しているが、経年劣化により傷みが見られるものについては、随時修理を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定歴史的建造物「水天宮本殿、拝殿」の説明板を修繕した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も引き続き、小樽の歴史的まちなみを構成する重要な資源である市指定歴史的建造物の情報を発信するため、引き続き修理を行う。

状況を示す写真や資料等



修繕前



修繕後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 普及・啓発と担い手育成 体験学習や出前授業で次世代の郷土愛を育むとともに、市民ボランティアの拡大や観光案内の多言語化を進め、国内外へ文化財の魅力を発信する。
 埋蔵文化財の適切な保護 開発前の事前協議と発掘調査を徹底し、現状保存に努める。未指定地での発見時の届出を周知し、調査結果に合わせて包蔵地情報の更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度における文化財の普及活動については、7月に一般市民を対象とした講座で25名に対して、重要文化財建造物の紹介を行った。また、旧日本郵船株式会社小樽支店では、Wi-Fi整備及びキャッシュレス決済の導入を行い、外国人観光客等に文化財の魅力を発信するとともに快適な利用環境の整備を行った。埋蔵文化財については、保護のための事前協議を6件、範囲の確認等を行う試掘調査を2件実施し、埋蔵文化財の適切な保護を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① Wi-Fi機器設置状況



写真② 埋蔵文化財保護のための試掘調査状況(1)



写真③ 埋蔵文化財保護のための試掘調査状況(2)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 修理と整備については、専門家と連携した早期発見・早期修理を徹底する。また、所有者の負担を減らすため補助金を活用し、歴史的価値を損なわないよう専門的な調査に基づき適切に修繕する。環境保全については、文化財単体だけでなく周辺景観を含めて保存する。また、看板の調和や屋外広告物の制限(景観条例の運用)を行い、市民・関係機関と協力して魅力ある環境を維持する。防災・防犯については、火災や地震への備え(防火設備の設置、耐震診断)を強化し、消防機関と連携した査察を行う。また、防犯カメラ設置や見回りを推奨し、万が一に備えた記録保存にも努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度における文化財の修理については、主に重要文化財旧手宮鉄道施設の機関車庫一号で建具の腐朽に伴い、強度が低下し、今後、さらなるき損の可能性がある部分について、新材を付設する仮補強工事を行った。重要文化財旧日本郵船株式会社小樽支店では、令和8年1月26日に文化財防火デーにあわせた防災訓練を実施し、管理者および関係者の防災時対応や意識の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① 防災訓練での市消防本部指導



写真② 防災訓練での屋内消火栓使用状況



写真③ 機関車庫一号補強工事施工状況



写真④ 機関車庫一号補強後状況

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 普及・啓発については、体験学習を通じた次世代の育成、市民ボランティアの拡大、観光客向けの多言語案内整備を行い、文化財の価値を広く伝える。防災については、防火・耐震設備の整備や消防との連携により被害を最小化する。被災時に備えた「記録保存」を推進する。官民連携については、地域住民、教育機関、民間事業者等と強力なネットワークを構築する。行政は情報共有や人材育成を支援し、一丸となって保存活用に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」が有する物語り性や文化的価値を広く共有するため、重要文化財旧手宮鉄道施設や重要文化財旧三井銀行小樽支店など、構成文化財7件の多言語(英語・中国語・韓国語)看板を整備し、地域内の回遊性と構成文化財に対する感心を促進した。文化財の防災訓練に関する取組は④-2参照。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



写真① 重要文化財旧手宮鉄道施設 旧看板取り外し状況



写真② 重要文化財旧手宮鉄道施設 多言語看板設置状況
 ※QRコードで多言語対応(英語・韓国語・中国語)



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
小樽市 7月に認定目指す 歴史的風致維持向上計画	令和7年3月7日	北海道建設新聞	
小樽市「歴史的風致」で最終案 市民の意見反映 国に申請へ	令和7年5月9日	読売新聞	
小樽の建造物、行事列挙 市が風致計画案 27日まで意見公募	令和7年5月10日	北海道新聞	
運河周辺を重点区域に 市が歴史的風致計画最終案	令和7年6月7日	北海道新聞	
小樽市歴史的風致維持計画の進捗状況	令和7年6月16日	FMおたる	
歴史的風致維持計画を国が認定 小樽市	令和7年7月31日	読売新聞	
国の「歴史まちづくり計画」小樽が道内初認定	令和7年7月31日	北海道新聞	
国交省など道内初認定 建造物の修繕を 小樽の歴史まちづくり計画	令和7年7月31日	北海道建設新聞	
小樽の町並み 保身に勢い 関係者さらなる支援期待も 「歴史的風致維持計画」道内初認定	令和7年8月1日	北海道新聞	
小樽市歴史的風致維持計画が国の認定を受けました	令和7年8月4日	FMおたる	
盆踊り 地域色豊か 小樽「高島越後」歌詞200超 テンポに緩急	令和7年8月13日	北海道新聞	
市内の日本遺産 案内人に学ぼう 25日ミニツアー 旧日本郵船小樽支店など	令和7年10月4日	北海道新聞	
「技術の結晶」港守り100年超 小樽・防波堤3施設 重文指定へ	令和7年10月25日	北海道新聞	
歴まちカードの配布	令和7年12月12日	FMおたる	
古民家改修「群青」に脚光 カフェや雑貨販売 25年市都市景観賞	令和8年1月7日	北海道新聞	
都市景観の功績たたえる 小樽市が4件の関係者を表彰	令和8年1月8日	北海道建設新聞	
第3倉庫活用へ民間調査 市 NPOの既存計画踏まえ 独自の提案も 募集	令和8年1月14日	北海道新聞	
防波堤3施設 重文指定 小樽港 文科省が官報で告示	令和8年1月16日	北海道新聞	
小樽の観光客400万人台突破 25年度上期 8年ぶり	令和8年1月21日	朝日新聞	
優しい光 小樽を照らす きょう開幕 ステージや体験多彩	令和8年2月7日	北海道新聞	
運河に浮かぶ幻想の光 14日まで「小樽雪あかりの路」	令和8年2月10日	読売新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画の進捗状況や認定を受けたこと、啓発イベントの実施、文化財に関する項目などが新聞各紙で取り上げられ、計画及び掲載した歴史的風致や建造物、文化財等の発信が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目

歴史まちづくりに関連する事業等の情報発信

計画に記載している内容 法令に基づく規制のほか、歴史的なまちなみの価値及び魅力の周知とともに、景観に関する啓発事業を実施することにより、市民や事業者等に対して景観保全への理解を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・計画認定後、広報おたるで歴まち計画の国の認定や「歴まちカード」の配布について特集記事を掲載し、市民への周知啓発を実施した。
- ・12月より歴まちカードの配布を行い、市内各所に配布場所を設けて、歴史を生かしたまちづくりの情報発信に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



広報おたる10月(計画認定)



広報おたる12月(歴まちカード)



歴まちカード

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第9回小樽市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和8年4月28日	
(コメントの概要)	
<p>(1) P8 ③-6 歴史的建造物保全助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修後の歴史的建造物の状況を十分に把握できるようにし、今後の保全方針や運用に反映してほしい。 <p>(2) P9 ③-7 未指定・未登録建造物調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の未指定・未登録建造物調査について、調査件数の増加や対象範囲の拡大を検討していただきたい。 <p>(3) P15 ③-13 小樽市都市景観賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市景観賞に選ばれた作品は小樽らしさがよく表れており高く評価できる。入賞以外の作品も素晴らしいものも多く、この事業は非常に意義深いと感じた。 <p>(4) P20 ③-18 市指定の無形の民俗文化財「高島越後盆踊りの行事」の公開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会や学校でも取り上げられ、多くの人が参加するようになり喜ばしい。 ・子供たちの参加促進だけではなく、指導者となる人材の発掘や育成も重要である。 <p>(5) P33 ④-1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護のための発掘調査は継続的に実施する必要があることから、今後も継続して取り組んでいただきたい。 <p>(6) P34 ④-2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災、防犯に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財旧手宮鉄道施設の本補強による改修方法は外観への影響も考えられるため、文化庁と十分協議したうえで、慎重に進めていただきたい。 <p>(7) 評価軸④(全体)文化財の保存又は活用に関する事項の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館以外にも公共施設で行われる文化活動があるため、他の施設で行われている活動も支援の対象となるように検討していただきたい。 	
(今後の対応方針)	
<p>(2) 建物の老朽化を踏まえ、今後の対応について検討する。</p> <p>(6) 文化庁との協議のうえ、建物の劣化状況を踏まえ慎重な調査を行い、適切な補強方法を検討する。</p> <p>(7) 博物館以外の公共施設で行われる文化活動についても支援の対象となる可能性を含め、今後の検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協議会で出された意見を踏まえ、関係部署及び関係機関と連携しながら、今後の施策や事業運営への反映について検討する。 	